

平成22年2月12日

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 稲敷市立古渡小学校 担当教諭名 木内珠生

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記の通り実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成22年 2月3日(水) 10:00~13:00
対象学年と人数	小学校1年 8名 2年 14名 保護者 10名
派遣講師名と出身国	MAMO Mamo Boru (ケニア) Tiago quintela Giuliani (ブラジル)
活動の内容	1 獅子舞・お囃子の鑑賞・体験 2 国の紹介 3 国の遊びの紹介 4 会食
生徒・保護者等 参加者の感想	<1・2年児童感想> ・知らない遊びを教えてもらえて、楽しかった。 ・一緒に給食を食べられてうれしかった。 ・いろいろな名前のつけ方があって、びっくりした。 ・もっと遊びたかった。 ・また来てもらいたい。
先生の感想	・なかなか外国の人と出会う機会がない地域なので、直接ふれあうことのできる貴重な体験ができました。子どもたちが、生きた英語を直に耳で聞くことができたことはとてもよかったと思います。 ・出身国のことをいろいろ教えてくださり、気候・生活の様子・食べ物のことなど日本との違いに子どもたちは驚いていました。 ・ゲームが流行る中、素朴で簡単な外国の遊びに夢中になる子どもたちの姿をうれしく思いました。 ・低学年の児童にとっては、少し難しいお話もありました。通訳の方を通してのお話なので、耳だけでは理解しにくい部分もあったようです。絵本などを使って聞かせていただくともっと興味深く聞き、理解も深まったのではと感じました。

